

## 「高齢者肺炎球菌予防接種を受けましょう」 文＝清水 雅代（保健師）

肺炎とは、主に細菌やウイルスなどの病原体に感染することで、肺に炎症が起こっている状態のことをいいます。せき、発熱、胸痛、痰がでる、息苦しいなど、かぜの症状と間違えられやすいのですが、症状が長引き、かぜの症状よりも重いことが特徴です。小児や高齢者のほか、肺や気管支などの呼吸の病気、糖尿病、がんなどの持病があると発症しやすくなります。また、ステロイドや免疫抑制剤などの薬を使っている場合も同様です。

肺炎を起こす原因として最も多いのが病原微生物の感染で、その中でも最も多いのが肺炎球菌です。羽幌町では、肺炎球菌の中でも肺炎を起こしやすい23種類の型に効果がある予防接種を次のとおり実施していますので、希望される方はお申込みください。

### ■ 定期予防接種

#### ① 65歳以上で定期予防接種をしたことが無い方

令和6年3月31日までの間に1人1回接種の機会を設けています。（過去に接種したことがある方は除きます）

#### 令和5年度定期予防接種の対象になる方 （65歳から5歳刻みの年齢）

65歳	昭和33年4月2日生～昭和34年4月1日生
70歳	昭和28年4月2日生～昭和29年4月1日生
75歳	昭和23年4月2日生～昭和24年4月1日生
80歳	昭和18年4月2日生～昭和19年4月1日生
85歳	昭和13年4月2日生～昭和14年4月1日生
90歳	昭和8年4月2日生～昭和9年4月1日生
95歳	昭和3年4月2日生～昭和4年4月1日生
100歳	大正12年4月2日生～大正13年4月1日生

#### ② 60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がいがある方 （身体障害者手帳1種1級程度）

### ■ 任意予防接種

65歳以上の定期予防接種対象年齢以外で過去5年間に肺炎球菌予防接種を受けていない方。

#### ■ 定期予防接種と任意予防接種の違いは？

高齢者肺炎球菌はB類疾病定期接種に該当します。個人での発症を抑える目的があり、本人の希望で接種することになります。定期と任意の大きな違いは、予防接種による副反応によって健康障害が生じた場合の補償額です。任意接種での健康障害への補償は、定期接種時の約2分の1程度となります。

接種可能病院 道立羽幌病院、加藤病院、天売診療所、焼尻診療所

申込方法 予防接種を希望する病院に直接、お申込みください。

接種内容 成人用肺炎球菌ワクチン  
（23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン）  
皮下または筋肉内注射 1回

費用 自己負担額 3,000円  
（定期予防接種・任意予防接種どちらも）

※ 今までに町の助成を受けたことがある方は全額自己負担となるため費用が異なりますので病院に直接確認してください

※ 町外の医療機関で接種する場合は全額自己負担となります

